



瀬戸地下  
軍需工場  
跡を保存  
する会

会報

NO.172  
2022年  
11月 15日

瀬戸市分町64-1  
瀬戸市職労組 事務所  
0561-84-4760  
fax 84-4767  
郵便振替口座番号  
00820-9-105120

連絡先

事務局  
梅野  
090-3837-7050  
寺脇  
0572-23-5899  
fax 同上  
携帯  
090-6575-4370  
Eメール  
tera-m@ob.aitai.ne.jp



# 地域を学び・地域で学ぶ



10月22日(土) 聖霊高校生の生徒さんと引率の先生10名と県立大学の学生さんと先生方9名に現地見学を行っていただきました。はじめて見る地下工場跡地を熱心に見学させていただきました。県立大学の学生さんの中には地下壕建設に従事したであろう朝鮮人の人々に関心を持ってみえる方もおられました。(寺脇)

## 一ぼくたちの町にも戦争があった一

8月6日(土)に開かれた保存する会第31回総会の記念講演会での村瀬紀生さん(右)の講演内容を掲載します。村瀬さんは40年以上瀬戸市内の小学校教員として奉職される傍ら地理教育研究会評議員として活躍されました。実践報告で月刊「地理」や「地理教育」「歴史地理教育」をはじめ大月書店、古今書院等に多くの論文を掲載されています。なお、文章は常体で表現しましたのでご了承ください。(文責 寺脇)



ありがとうございます  
ごさいますました!

2023年度  
瀬戸市  
会費およびカンパを頂いた方

堀川道子さん	2150000円	堀山英二さん	2250000円	堀勝さん	2300000円
堀川道子さん	2150000円	横山文代さん	2250000円	高橋満治さん	2300000円
堀川道子さん	2150000円	伊澤智さん	2250000円	大塚英二さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	増田孝喜さん	2250000円	横山文代さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	木戸泰幸さん	2250000円	伊澤智さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	荒木庄平さん	2250000円	増田孝喜さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	水野高至さん	2250000円	木戸泰幸さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	川手眞理子さん	2250000円	荒木庄平さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	山川一年さん	2250000円	水野高至さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	堀秀夫さん	2250000円	川手眞理子さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	戸孔成さん	2250000円	山川一年さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	富田孝正さん	2250000円	堀秀夫さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	加藤昭子さん	2250000円	戸孔成さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	羽根田正之さん	2250000円	富田孝正さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	鈴木和義・宮江さん	2250000円	加藤昭子さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	柴田美代子さん	2250000円	羽根田正之さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	須田雅子さん	2250000円	鈴木和義・宮江さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	原町子さん	2250000円	柴田美代子さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	高木みどりさん	2250000円	須田雅子さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	青木正雄さん	2250000円	原町子さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	大矢昭夫さん	2250000円	高木みどりさん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	春日井市	2250000円	青木正雄さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円	名古屋市	2250000円	大矢昭夫さん	2250000円
堀川道子さん	2150000円		2250000円	春日井市	2250000円
堀川道子さん	2150000円		2250000円	名古屋市	2250000円

久しぶりに瀬戸に来た。

「地域を学び、地域で学ぶ」ということで学校の社会科教育がどうなっているのかという視点と地域の在り方がどうあるべきかということとを、皆さんと一緒に探っていききたい。

そんな中で、30年前にちょうど地下工場が見つかった経緯は当時の高校の先生であった高橋先生から「瀬戸にこういうところないか」と言われたので大矢さんに話したらこういうところで、国立国会図書館にある米国のフィルムとこの穴が一致して、そこから始まった。

先生が一生懸命しゃべっても、梓の中にはまった教育はだれも聞かない。私は現場に行くことが大好きで、知識・理解が伴わないので、現場で見せる事が大事。先日、教え子が訪ねてきたが「先生は社会科は教科書を使いませんでしたね」とそれと「教室で授業をやってませんでしたね」と言っていた。地域にないか良い情報があると、みんなでぱっと外に出た。30年前も何か創作劇を作るためにフィールドに行くと、子どもたちと穴に入った。その時にNHKがちょうど取材に来ていて、NHKの人が「先生、どうやって子どもたちに伝えるんですか」と言う話になったときに、今日のフィールドワークの結果を話すのでということとNHKが取材にきた。そのときに「次回はどうされますか」と言われるが、特別授業なので7時間目だった。子どもたち「いやだったら帰っていいよ」と言ったら40人忠一人だけ帰った。翌日のディレクターと思われる人が「今後、どうされますか」と言ったので「(劇を)作ります」(下図)と言ってNHKと連絡を取ったら、後で校長が「君のクラスだけ目立つことは許さない」とい

う事になって、NHKから苦情がきた。「あなたは、それで良いのか」と言われた。言われても立場は立場なので、なんともならず窓口の教頭先生とやり合っていた。「そんなことで教育は良いのか」と言われたが返答できなかった。水野という地域を考えると教科書はほぼ大学の先生や有能な先生が執筆するが、それをいかに解釈して、学校の先生が落としていくかが大事。

150年前に学制発布されたが、その前の江戸時代の水野という地域は、尾張御三家の筆頭徳川の紀州と尾張と水戸があるが、水戸は一つ下がる。あそこは中納言。大納言が尾張と紀州。将軍がだめだったら継承順位一番が尾張。15代続いた将軍の中で残念ながら尾張は一人も出ていない。初代藩祖の定光寺にある徳川義直。あれは紀州から春姫というお姫様をもらったが、子どもがでなかつた。義直は鷹狩が好きだった。その時の水野村に住む娘にお手付きをした。それで生まれたのが2代藩主光友。昔は名古屋城から殿様街道に上がる道は水野街道と呼ばれていた。お城から大曾根を通り守山、小幡と来て大森までくる。大森には金城学園前に大森寺(だいしんじ)というお寺がある。あそこは光友のお母さんの菩提寺。



ダンボールでつくった地下工場工場入口(調査部の発表)  
▽陣中の線を保つのに懸命な「B29役」

**「ぼくらの町にも戦争があった」**  
(本文8ページ)  
提供/村瀬紀生

1945年8月15日「玉音放送」を聞く

	川瀬まゆみさん	10000円
	森雅欣さん	10000円
	北名古屋市	
	半田市	20000円
	豊川市	20000円
	佐藤明夫さん	20000円
	兵道易久さん	20000円
	富田林市	
	長瀬新平さん	10000円
	小川貞子さん	10000円
	沖縄県八重瀬町	
	沖本裕司・富貴子さん	5000円
	愛航研究会	5000円
	神谷幹夫さん	5000円
2022年11月9日現在	151名	(+5-2)

そこから新居の方に来て尾張旭、昔は尾張新居と言っていた。そこから北の方が上がって水野にくる。そこから殿様街道を渡って定光寺に行く。

昔の街道は流通だとか経済とか信仰とか文化の道とか色分けしていくと水野街道は政治の道。何に使っていたかという藩主の墓参の道。水野小学校のところには代官所があった。そして御林方奉行所。木曾のヒノキの管轄。そういう意味で水野という地域には関連性がある。また定光寺に上がるところに御用橋と言う橋があるが、それはお殿様しか通れない橋。

地形から言うと、瀬戸は東に三国山と猿投山があるが、そこは600〜700mの愛知丘陵地になる。瀬戸市は100〜200mの低位置丘陵地になっていて、南側から行くと幡山、菱野、菱野丘陵地の先っぽが長根支丘。そして水野丘陵、穴田丘陵と三つの丘陵の間に、矢田川と瀬戸川と水野川が流れている。水野川をさかのぼっていくと品野で品野川、落合川と名前が変わるが、その辺りは縄文の遺跡がある。また水野には古墳がいっぱいある。もう少し下ると庄内川の方には東谷山の古墳がある。古墳があるということは人が住んでいて、人の生活があったということなので、この水野と言う地域は昔から人の行き来があったとうことが証明できる。そういう地域性がある。学校というのは文化の中心的存在。区分の仕方という自然に分けられた区分もある。生活区分で言うと衣食住も関係してくる。選挙で言うと、水野は春日井に含まれるというよくわからないところがある。

学校の歴史は明治5年の森有礼が文部省大臣のときからはじまるが、あれから150年しか経っていない。「戦争は教育からはじまる」という言葉があるが、これがこの運動を位置付けていくときのキーワードになると思うが、学校は文化の中心になって150年、教育が人々に与えた影響力にはすごいものがある。

たとえば、太平洋戦争に突入していくときに教育勅語に始まり、忠君愛国、滅私奉公、「ゼいたくは敵」だとか「鬼畜米英」とか、やってきたわけだけど、それだったら学校は何をするところなんだと、私も50年ほど前に教育基本法を紐解いた。教育基本法17条、「小学校の目的」小学校は心身の発達に基づいて普通教育を施すことを目的とすると書いてある。それから授業年限と教科と就労義務とか書いてあった。なんだこれはと思いつつやっていた。次に私は分らないときには六法全書とか広辞苑とか引きながら言葉の意味は何かと調べるが、国語辞典を見たら「学校とは生徒を集め一定の方式によって教師が継続的に教育を与える施設」とある。私がここで一番気にしないのは、「一定の方式によって」というところ。先生が自由な発想で自由なことができない。要は文科省の言っていることをいかに忠実に守って教えるか。個人の発想は全部だめ。教員になりたての頃に「先生、こんなことを遊びで、やってみていんですが」と(指導教員に)言うところ「村瀬君、上に聞いてこい」と言われた、私は何も知らないで「遊んで学ぶ、学んで遊ぶ」これが自分の基本だと思っていたが、そんなことを言われて「いちいち授業でやることを聞くのか」と思っていたら、今度は「教育課程」というのがあ

るからそれを読まないといけない」と言われたので教育課程(それぞれの教育委員会が学校に配布)を読んだら、この実情に合わないことをやっている。たとえば漁業を教えるときに「漁港に見学に行きましょう」と書いてある。瀬戸からどうやって漁港に行くのかとあったので、教育課程なんか読まなかった。読んでもわからないから。一番いやなことは、人が作ったもの。自分の発想ではない。教科書を読みこんで自分で何かをやるうとしたときに、その通りにやっていたら、なんか変だな、これで子どもがわかるのだろうかと言うようになってきた。これはまずいと思っていたが、今の先生たちは大変だと思う。私達のときは、国語社会算数理科音楽図工家庭体育とここまで8教科だったが、今は亡くなった安倍晋三君が道徳を教科にし、外国との交流が大切だから外国語も評価し、総合というのもある。総合と言うのは教師の力量を求められ、何でもいからうまく合わせてやらない。最初のころは基礎・基本がなくなってないから計算力つけましょう、漢字の練習やりましょう。なんてだれがやりたいものか。そのころは土曜日が半日あったが、その分、月曜日から金曜日に振り分けられて、子どもを長時間拘束するという憂き目になった。おまけに、学活、委員会、クラブ。最近、気になったことに中日新聞に載っていたが教育現場「日の丸 政治圧力」という記事だが記録映画「教育と愛国」を作った毎日放送の斉加尚代が書かれたものだが、「民主主義の基盤が危ない」と書かれている。

# 戦跡保存シンポジウム広島大会報告② 櫻村愛子

8月20日(土)〜22日(月)の3日間、広島市において第25回戦争遺跡保存シンポジウム広島大会が行われました。コロナ禍のため対面で開催されるのは3年ぶりで、全国から多数の参加者が活発な討議が行われました。以下に櫻村愛子さん(愛知大学教授)のご報告②を掲載します。(寺脇)

資料館のリニューアルについてはすでに批判があります。少し暗めのホール、英語併記、パーソナルに焦点を当てた展示、写真、証言をもとに高校生たちが描いた絵(被爆者の話を聞きテックを受け書き直します。教育の方法としてはよい試みだと思います)、証言で構成され、デザインも、ユダヤ博物館などの既視感があります。でも、洗練された分、ミュージアムの消費の対象になつた感もあります。最初に文脈なしにトラウマ的現象が飛び込んでくるので、まさかこれで終わり?と焦つたら、その後で離れたところに、核と、広島の説明のコーナーが続きます。見学時間を考えてこの順になつたことです。なくなつてしまった、ピフォア、アフターの模型の方が良かったと思うのですが、この模型は本川小学校の資料館に移されました(図1)。また大会要項には今回の趣旨が以下のように書かれています。



↑ 図1 旧資料館にあった原爆投下後の広島市の模型(現 本川小資料館)

↓ 図2 旧陸軍被服支廠倉庫

「広島は『被爆』に焦点が強くなると、反面、日清戦争を契機として軍都として大きく発展した地でもあり、広島市が被爆建物として指定し保存支援している建物の中にも、軍都広島時代の軍事施設が含まれています。このことに改めて注目が集まったのは2019年、巨大な被爆建物である旧陸軍被服支廠倉庫3棟(全4棟で、もう1棟は国が所有。いずれも1913年建造)(図2)について、安全対策を主な理由に1棟保存2棟解体の方針を出したのがきっかけです。被爆者や戦争遺跡保存全国ネットをはじめ全国の市民から解体反対の声が寄せられた結果、県は方針の再検討を始め、3棟の重要文化財指定検討や利活用を考える市民の取り組みも始まっています。一方、2021年にサッカー場建設予定地とされた中央公園(広島城西)で、旧陸軍輜重隊補充隊の広大な被爆遺構が発掘中であることが明らかになり、保存要望の声が高まりましたが、市は



「被爆の痕跡が明瞭でない」として「一部を切り取って保存」するに留め、埋め戻し、スタジアム建設工事を始める結果となりました。他方、広島市は平和記念公園で地下に埋もれていた民家の被爆遺構を、2022年春に『被爆遺構展示館』(左図)として開館しており、行政による初の被爆遺構保存展示事業として注目されます。」



被爆遺構展示館

今回の大会は、こういった現在の広島市の遺跡保存を巡る政治的状況について、保存運動に実際に携わる人々が報告されるの広島をヴィヴィッドに伝える、とても充実した大会でした。そもそも原爆ドームのすぐそばに位置する、会場の青少年資料センター自体、そのスタジアム隣接の商業施設の工事現場を目の当たりにする場所で、入り口が工事のため制限され

ていました。今、広島は世界的な「ピースツーリズム」のまちとして再開発を進めていることが現場でひしひしと伝わってくる大会でした。

では三日間の内容をご紹介します。まず第一日目の記念講演「ヒロシマの願いを世界へー平和行政の歩みー」は元広島市国際平和担当理事（兼平和記念資料館館長）原田浩氏。原田氏も被爆者であり、東日本大震災の復興保存の問題にも現在関わられていてその話もされました。二分する住民の意見のうち災害遺跡の存在反対派はトラウマの問題もあり、強引に建設しないで待つといった話が印象的でした。

そして戦争遺跡保存全国ネットワーク運営委員菊池実氏による基調報告「戦争遺跡保存の現状と課題2022」のあと、地域報告で広島大学名誉教授藤野次史先生（考古学専門）が「第二次世界大戦時の広島市における軍事施設についてー旧陸軍中国軍管区輜重（しちよう）兵補充隊跡、旧広島陸軍兵器補給廠（支廠）跡の遺構を中心にー」、「広島・ヒロシマ・広島を歩いて考える会」多賀俊介氏が「旧陸軍被服支廠倉庫保存問題の現在及び被爆遺構展示館の意義と課題」について報告されました。

藤野先生は、広島は明治時代6鎮台の一つが置かれた都市で、中・四国地方の中央に位置し、瀬戸内海の利用できる地理的特徴があったと指摘し、日清・日露戦争を通じて戦争継続のための兵站地として各種の軍事施設が急速に整備され、明治期7万の人口は40万人になったと述べられました。こうして広島は60カ所以上の軍事施設があった巨大な軍都となり原爆投下の直接的で重要な要因となったと

のことで。三日目に私たちは広島城の中の軍事施設をラジカルバナナさん（横浜で話題になった加害展を担った人たちでした）にガイドしていただきました。



護国神社鳥居

したが、広島城に移転された護国神社の鳥居（被爆建物上図）が尋常じゃない大きさであり（という）ことは護国神社そのものの敷地の広さも。そして今は広島城に移築されていますが、遊就館どころではな

い右翼の聖地のようなです。被爆都市広島がそれと隣接していることがまさに広島の実態なのです）、この日見学した旧陸軍被服支廠倉庫の大きさと共に、その様子をしのぶことができました。藤野先生は、軍馬や車両を戦地まで輸送する旧陸軍輜重兵補充隊跡の保存運動や、広島大学校舎などが建設され地下にある旧陸軍兵器補給廠跡をスライドで紹介しながら「地下の戦争遺構はまだ残っています。平和を発信する加害・負の遺産として利活用を考える運動を広げたい」と発言されました。なお、藤野先生は第三日目の見学会で寺脇さんと私が参加したAコースでもガイドを務めてくださいました。二日目は三分科会に分かれて、全国のいくつかの会が現状報告をしました（第1分科会「保

存運動の現状と課題」、第2分科会「調査の方法と整備技術」、第3分科会「平和博物館と次世代への継承」。寺脇さんと私は第3分科会に参加しました。寺脇さんも研究熱心なので、瀬戸の会での報告を度々されているようです。第3分科会では、松代大本営平和祈念館の人たちが「見学者のためのリーフレット作りとコロナー小中学生用と外国人用」「迫られるガイド増員への対応」、日吉台地下壕保存の会の人たちが「戦争遺跡の教育的活用にあゆみー日吉台地下壕保存の例からー」、そして中帰連平和祈念館の人々が「赦された戦犯たち」を報告され、活発な議論がなされました。松代については、コロナのせいで遠くに行けないこともあり、近隣の学校などの見学者が増えており、ガイド養成の要請が高まっていることなども報告されました。

後半は、広島の話も出ました。一日目の夜に、寺脇さんの友人のお家にかがって伝承者をされているご家族からお話を聞くことができているので、広島で作られた伝承者の仕組みについても私が質問し伝承者の人と議論しました。伝承者は、被爆者の話を聞いて自分が伝承したい人を選び、ストーリーを書きます。その中身は自由ですが、当事者本人他の3回のチェックが必須です。伝承者は次の伝承を引き継ぐことはできないので、被爆者がなくなれば伝承者の仕組みはなくなる一回限りの制度で10年前くらいに実験的に始まりました。資料館でも講和が聞けますが、祈念館が無料で全国に派遣する事業を行っており、伝承者を目指す人は全国から集まってくるそうです。現在

の伝承者の死後は、当事者が伝えうる生々しい戦争体験をどう継承していくのかについて、また新たな仕組みが必要でしょう。

広島を唯一の被爆国と言ってしまうえば、被爆した朝鮮人や中国人を排除してしまうとする批判が会場でもすでにあり、最近では「グローバル被爆」という議論が出てきていて、またこの伝承者の仕組みも、資料館や祈念館事業の枠組みの制限のもとで、被爆者のチェックが入っているという批判もありました。加害責任を語るとピースボランティアから排除されることとで原爆ドーム前でフリーでガイドボランティアをしている有名なガイドさんの存在も知りました(ちなみに

この方に、寺脇さんと私は、被爆建造物の表面の「ザラザラ」(被爆した)と「ツルツル」(影響を免れた)で、熱線を浴びたかどうかを確認し、光線の向きを推測できることを、たくさんの方々に教えていただきました(下図)



広島市は「ダークツアリズム」ではなく「ピースツアリズム」を標榜していることもありますが、被爆、被害、平和都市を一边倒に掲げているところがあり、三日目の後半の案内をしてくれた、ラディカルバナナの人たちは、原

爆スラムからそもそも人々を追い出して平和公園は作られたと批判していました。

原爆スラムについての都市社会学の研究によれば、戦争前は軍需工場もやっていた市会議員、任都栗司がひどく荒廃した広島復興に重点予算を取ってくるため、平和都市構想を思いつき、広島のおかげで戦争が終わったのだからと正当化しました。でも復興が進まないといけないので、不法占拠状態のバラック群を「原爆スラム」と名付け、平和公園建設のための立ち退きが進められました。実際、衛生状態は悪く火災もしばしば起きたわけですが、そこに住んでいる人たちの連帯感とコミュニティができていたという調査結果があります(生存者がいるうちになされた最近の大事な調査だったと思います)。平和公園という当時の※ジェントリフィケーション(注)による立ち退きという証言がそこから引かれるのでしよう。それは現在、平和都市のための再開発が軍都他の歴史を蹴散らしていることと相同だからです。もちろん住宅確保の上での立ち退きでしたが、貧しい人たちにとってコミュニティは相互扶助組織でもあったのです(仙波、2016)。

三日目がメインともいえる現地見学会で、今年、  
 A..旧被爆支廠と広島城周辺軍都遺跡を巡るコース、  
 B..呉旧海軍地下工場等をめぐるコース、  
 C..太田川上流の朝鮮人労働、強制連行中国人労働により建設されたダムと碑をめぐるコース、  
 D..平和記念公園と周辺の被爆遺跡・碑をめぐるコースでした。

寺脇さんと私はAコース、陸軍被服支廠、中国軍管区司令部防空作戦室、護国神社、慰霊碑などを回りました。私は話題になった旧被爆支廠が見たくてここに参加しました。ここも保存運動を進めている現地の別の若い人たちが案内してくださいました。被爆でひしゃげたドアや窓などが生々しく放置されたままでした。保存も再開発もないまま打ち捨てられていた、行政が管理していた建物は、ネオリベリズム(新自由主義)市長とジェントリフィケーションの開發のもとで、逆説的に保存の問題を浮上させたこととなります。ただし、被服支廠は軍の建物とはいえ市民の声もあって被爆建物の名目での保存、スタジアム工事での軍の施設は「被爆の跡が見られず被爆建物ではない」との線引きのもとで、被爆の歴史と連続線にある軍の施設の歴史は消去してしまおうという、現在の広島の方針が透けて見えます。爆心地付近の軍の水道管(軍があったために当時早い導入がなされ、立派な水道管は資本の軍への集中投入を思わせる重要な歴史資料です)は水道局に一部展示はされていますが、基本は解体したようでした(上図)。

被爆建物としての巨大な護国神社など、軍都・帝都であるからこそ広島にあった軍関係の遺構は広島の一部です。日清戦争からの軍と一体となったまち(港からの凱旋



あった軍関係の遺構は広島の一部です。日清戦争からの軍と一体となったまち(港からの凱旋

のシンボルだった塔が平和の塔に書き換わる、マレー作戦の大虐殺に関わった陸軍第5師団歩兵第十一連隊とその「勇戦」を顕彰する碑（広島にそれがあることにショックを受けたマレーシアの被害者、アジア大会のときの碑文の一部書き換え）、明治天皇のために掘った井戸が聖蹟となつているまち、呉（戦艦大和）と広島という対比でなく帝都広島の只中にたくさん



右翼の聖地があること、日清戦争のときに臨時国会が開かれ臨時首都となつたまち（そこで日清戦争の臨時軍事予算案が可決された。案内してもらいましたが、碑が残っています（上図））といった

ことの一部として、広島は理解されるべきなのです。そして今回の実行委員会の人たちはそれを訴える、成熟した市民運動の担い手たちでした。広島市は駅前をはじめ大開発の真っ只中で、安価な市民プールはなくなり（学校プールもなくなるのに市民プールもなくなるのは全国的なネオリベ（新自由主義）再開発）、巨大サッカースタジアム（地上7階、3万人収容、ラグビー大会なども想定、屋内可）の横に商業施設ができるのです（豊橋も市民の反対のもとで、今豊橋公園にプロバスケットボールのための巨大体育館を作ろうとしています）が、これも全

国的な動きです。原爆ドームのすぐそばにあるべき、市民が集う広場が大商業施設に代わっていきます。そもそも平和公園自体も戦後の被爆難民を蹴散らして作ったそうですが、まちなかに人工的に作られたその大きな土地が資本のリソースとして被爆施設の観光化と共に商業化されていく、ということが起こっていることを目撃しました。

遺構については保存すると広島にも国にもお金がかかるだろうと思いがちですが、藤野先生の言うように遺構の少ないところにスタジアムを作ればいいわけで、藤野先生はギリシアのアクロポリスの話を引き合いに出されていきました。どこにでもあるスタジアムや商業施設を作つて、聞き飽きた「賑わい創出」という安っぽいプランにしがみつくより、埋もれている巨大軍事都市が原爆の影響を受けている遺構にはきつと世界中、世界中から人が見に来るはずだと思えます。藤野先生の案は、スタジアムの中に遺構を取り込んだ資料館を作るという現実的な案なのです。以上

参考文献

仙波希望、2016「平和都市」の「原爆スラム」―戦後広島復興期における相生通りの生成と消滅に着目して―

『日本都市社会学会年報』34号  
([https://www.jstage.jst.go.jp/article/jpas-urban/2016/34/2016\\_124/\\_pdf/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/jpas-urban/2016/34/2016_124/_pdf/-char/ja))

※（注）ジェントリフィケーション（英語表記：Gentrification）とは、政府や企業が主にインナーシティといわれる低所得地域を再開発し、高級化・上位化をすることにより地域全体の価値が高まる現象のことです。

あいち平和のための戦争展で語っていただいた戦争体験

西英子さん

- ・終戦時は8才、土岐市の下石（おろし）に住んでいた。学校（本校）は山の上。分校は公民館。
  - ・毎晩B29が飛んでいた。名古屋の方は真赤に見えた。
  - ・玉音放送のとき 小さな町でラジオが家にあつたので、たくさんの方が集まっていた。聞いている時は、みんな下を向いて、ひとこともなく帰っていった。天皇の話は「もっとがんばれ」という意味だと思った。負けたとは思わなかった。灯火管制がなくなり電気をつけて食事をした。空襲もなかった。
  - ・敗戦後 空襲警報がなくなった。学校ではそれまで男女別の教室だったが、男女混合になった。「そろばん」「書道」「修身」がなくなった。教科書がなかった。
  - ・ジープで米兵がきた。チョコやガムをもらった（食べ物につられた）
  - ・米兵が来たとき、女の人がかくれた。私は男の子みたいだったので、お茶をもって行ったら、「ボーイ？」と聞いてきたので「私は女の子」と言った。チョコレートもらえるよとみんなに言いふらした。
  - ・新しい憲法ができて「これからは戦争しない・これからは民主主義の国、デモクラシー」と教わった。
  - ・大人はみんな「ころっと」変わった。
  - ・敗戦前 生まれてからずっと戦争
  - ・シナ人 朝鮮人をバカにしていた。朝鮮の悪口は言うけれど、朝鮮の子とは仲良かった。
- 15軒のうち5軒は朝鮮人だった。朝鮮戦争のときは、いなくなった。



以上

## 写真で観る晴嵐 28号機修復の全貌 第5話

愛知航空機研究家・渡辺哲国

### 5. 晴嵐 28号機の氏素性

#### 1) 修復過程で判明した事実と考察

- ① 胴体左翼ウイングレット部に 12.7mm 機銃の弾痕が発見された。弾はここから入り、左翼折畳展張用油圧シリンダーの中央下部にて止っていた。折畳展張不可能。
- ② 胴体内部から未使用のリベット多数 (S サイズ紙コップ 1 杯位) と針金、電線類を巻いた木片、孔開けもしくは肉抜き時のアルミ板など不用残留物が発見された。〔飛行不可能な修理途中機である〕
- ③ 主翼から外された燃料タンクの内部から、静岡県にあった太陽アルミニウム株式会社の検査進行表や作業表、愛知航空機検査部機体課の検査成績表などが余り汚損されない状態で発見された。〔愛航永徳工場にあった書類であり、飛行不可能である〕
- ④ 浮舟内部にはガロン缶に半分くらいの砂と少量のアルミ切粉 (ドリル加工) が残されていた。浮舟修理機である。砂は庄内川の砂と推定。
- ⑤ 親子式フラップの濃緑色塗装が剥げ、下から試作機色の黄色 (C1) が出ていた。試作機の部品を転用と推定。

当時の従業員の心情として、超極秘の秘密兵器晴嵐を、むざむざ敵国アメリカに渡すのはしのび難く、燃料タンク内に検査表を入れたり、機体内に不用部品や工具などを放置したと考える。

#### 2) 破損した晴嵐の写真からの考察

写真 A) 飛行課建屋の前に放置された破損、欠損、錆が目立つ晴嵐、主翼上の人物は米軍調査官と推定。

- ① 胴体後部の日の丸は白縁付き
- ② 発動機上部覆いは欠品
- ③ 垂直尾翼と水平尾翼は欠損
- ④ 破損開口部：胴体日の丸の後部と左浮舟が破損し開口している
- ⑤ 空気取入ダクトに白丸あり
- ⑥ 親子フラップが欠品
- ⑦ ピトー管が外れて垂れ下がっている

#### 写真 B)

雑然とした工場内に置かれた晴嵐と脚立 (敗戦後の永徳工場試作棟と推定)

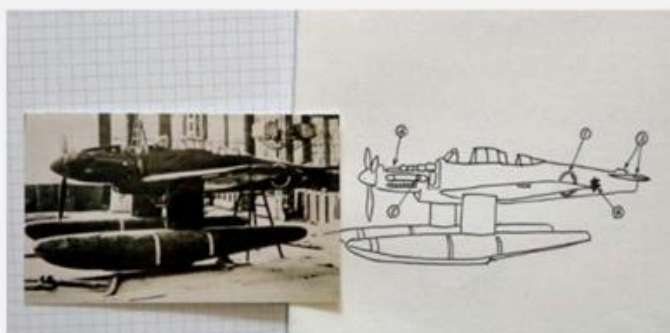
- ①②③⑤は写真 1 と酷似
- ④破損開口部：胴体日の丸の後部のみ (浮舟は修理済)
- ⑥親子フラップ装着済
- ⑦ピトー管装着済

\*写真 A と B は同一機体と考える。写真 B は戦略爆撃調査団の愛航報告に掲載されている。この工場内で撮られた写真は文献でも掲載され、組立中の晴嵐と説明されているが、屋根には穴が開き床には不用品が乱雑に放置されているので敗戦後の写真と考える。写真 A の機体を工場内に入れ修理していると判断する。

次号へつづく



①写真 A)



②写真 B)

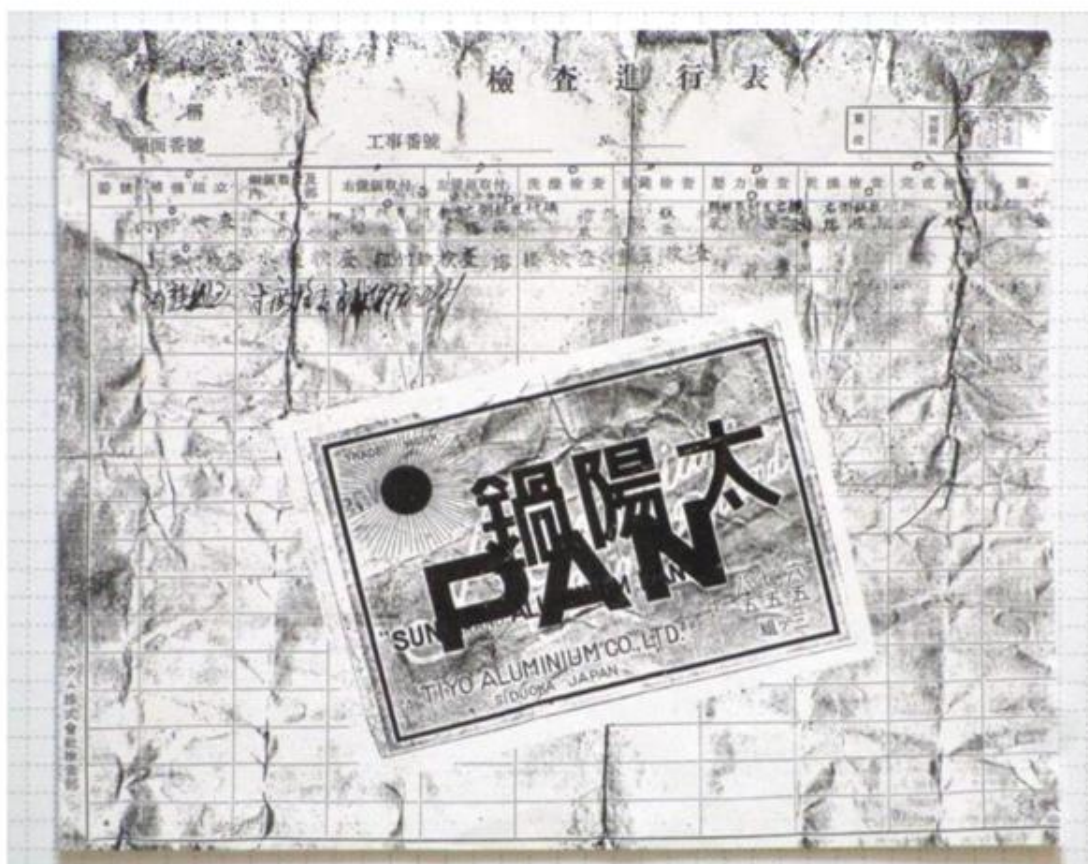




③28号機の機内から発見された不用残留物



④28号機の機内から発見された不用残留物



⑤太陽アルミニウム株式会社の検査進行表や作業表



⑥、⑦親子式フラップの濃緑色塗装が剥げ、下から試作機色の黄色（C1）が出ていた

# 各地からのおたより



寺脇様

2022.7.25

いつも会報をお送りいただき有難うございます。拝読し、学ばせていただいています。170号の「みなさん、どうおもわれます?⑩もはや戦前か?今、教育が危ない!」を読みながら、背筋に冷たいものが走りました。敗戦直後から、日本の保守的指導者達は一貫して教育の反省はしていませんでした。アメリカの教育使節団の。方針に反対でないので、渋々民主教育を受け入れただけでした。皇民化教育の復活を虎視眈眈と狙ってきました。

私が国民学校時代に受けた国定教科書による教育は、暗記・暗唱に重点をおいていました。教育勅語、青少年学徒二賜リタル勅語、ご神勅、五ヶ条の御誓文等々。いずれも皇室に関するものでした。

修身は教育勅語に沿っていましたし、国史は神武東征から始まりました。最も重要視された学校行事が四大節(※)の式典でした。皇室を讃え、万世一系のわが国の誇りを抱かせるための重々しい行事でした。各校に校歌を作らせてまで忠孝心を植え付けました。国の為、陛下の為に喜んで死ぬことができる少国民の育成が図られ、「一旦緩急あれば(略)天上無窮の皇運を扶翼」する覚悟を全国児童に抱かせました。(因に同期の仲間仲間疑問を抱いていたのは、3クラスでただ一人だったようです)(クラス会の発言、記録等より)

今回、天孫降臨神話を押しつける教科書が検定を通過する時代になったことを知り、本当に恐ろしく思います。かつて伊勢でのサミット開催意図も本音は……。

9月24日の「戦争は教育からはじまる」に参加したい気持ちが山々ですが、90歳の高齢の為出掛けられません。残念です。ウクライナ進攻を支持しているロシアの人々と、かつての私たちとの類似に、同情を禁じえません。総会参加者の多いことを念じつつ。

名古屋市 堀川道子

## 四大節とは、四方拝(節)・紀元節・天長節・明治節の事を言う。

## 教育の衝撃

	制定時期・日付	明治時代	昭和時代	現在
四方拝	平安時代初期 1月1日	戦前は国の行事として 四方節と呼ばれていた。	戦後は、天皇家の 私的な行事。	元旦 1月1日
紀元節	1972(明治5)年 2月11日	1972(明治5)年に 神武天皇即位の日に 基づいて制定。	1948(昭和23)年廃止 1966(昭和41)年復活	建国記念の日 2月11日
天長節	1868(明治元)年 11月3日	明治天皇の誕生日 11月3日	昭和天皇の誕生日 4月29日	天皇誕生日 12月23日
明治節	1927(昭和2)年 11月3日		明治天皇の誕生日として 1927(昭和2)年制定 1948(昭和23)年廃止	文化の日 11月3日

岐阜市平和資料室(JR岐阜駅下)にあった慰安袋にあった兵隊さんへの葉書の内容 事務局

## 編集後記

今年の「あいち平和のための戦争展」の入場者は1200名ほどでした。戦争展の会場が2017年に鶴舞の名古屋公会堂から矢田の市民ギャラリーに移ってから6回目の戦争展ですが、その間、コロナ禍のために1回休止したこともありましたが、交通の便などで公会堂での開催に比べて参加者は少なくなりましたが、展示物の掲示作業が大変楽になったので、助かります。なお、ネット展示はまた見れるのでぜひご覧ください。「あいち平和のための戦争展2022」で検索してください。  
2022年11月10日(T)

大観国民学校  
ではさようなら  
兵隊さん あついのにくら  
うでございませう 兵隊さんあ  
のねえみんな元気ですのよ  
そして朝ラヂオ体操に行つて  
からだをきたへていきますのよ  
戦争に行つてしな人のくびを  
取つておみやげにして持つて  
かへつて来て下さい、そしてみん  
なかへるとばんざいととなへ  
ませうね お宮へまいつておい  
りましたます